

大事協だより

大島地区公立小中学校
事務職員協会 研修部
第49号
2015年6月26日発行

干からびそうな天気の後には、豪雨。毎日の温度差も大きいです。皆様大丈夫ですか？

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○
○御確認をお願いします○

＜協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。＞

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪（わ）」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がりを親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。

＜会長あいさつ＞

名瀬中学校 川田 和夫

前会長、加川純男さんの後を引き継ぐことはとても大変だと思っています。協会設立の基本理念、大島地区事務職員全員のゆるやかな繋がりを大事にしながら、この協議会を運営していきたいと思っております。先月の大事協総会や夜の交流会への参加、協力ありがとうございました。これからも、理事や執行部で意見を出し合いながら、全員で、大事協の基本理念を目指していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

＜平成27年度 大事協役員＞

本年度の役員が総会で承認されました。

職名	氏名	勤務校
会長	川田 和夫	名瀬中学校
副会長(総務)	金森 永光	緑が丘小学校
副会長(研修)	藤崎 久子	伊津部小学校
書記	松木 慶子	朝日中学校
会計	竹ノ内義隆	龍郷小学校
監事	奄美市笠利ブロックから選出	
監事	龍郷町から選出	

☆第10次県費事務改善検討委員会委員

江平 禅(犬田布小学校)

どうぞよろしくお祈りいたします

＜交流会 会計報告＞ 報告担当:会計 竹ノ内 義隆

今年度も、第1回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。その会計報告をいたします。多数のご参加、ありがとうございました。

(収入)

参加費 4,000円 × 79名分 = 316,000円
(会員74名、補助1,000円×74名分)

(支出)

料理代・飲み物代
4,000円(税抜) × 79名分 = 316,000円

(収支) 316,000円 - 316,000円 = 0円

～新規採用者より～

瀬戸内町立篠川小中学校 森 由紀子

この度、新規採用で瀬戸内町立篠川小中学校に参りました森由紀子です。初めての仕事で4月当初に勤務先に行った時には、何をしたらよいのか分からず、目の前は書類の山で正直頭が真っ白になりました。兼務校があると言われても、結局何をしたらよいのか分からず、とりあえず挨拶に行ったのを覚えています。最初は先生方からの質問の意味も分かりませんでした。

しかし、近隣の事務の先生方に連絡を取ると、すぐに対応してくださり、一安心しました。また、お忙しい中、学校にも足を運んで手取り足取り教えてくださり、一つ一つ仕事を終えることができております。

支援室は雰囲気もよく、情報共有ができ、相談しやすく、楽しく仕事できております。このような周りの支えがあって、仕事を頑張ることができており、感謝でいっぱいです。

支援室の先生方のつながりとともに、今回大島地区に配属された同期の先生方とのつながりを大切に頑張っていきたいと思っております。

いろいろ学んでいきたいと思っておりますので、これからもよろしくお祈りいたします。

瀬戸内町立諸鈍小中学校 加治 大志

この仕事についてから2ヶ月の時間が過ぎた。知らないことばかりのなか慌ただしく日々は過ぎたが、少しずつ仕事を理解できるようになった。

この仕事に就く前、教育事務の仕事のことについては、インターネットなどで調べた知識しかなかった。しかし、着任当初から仕事が待ち受けており、息つく間もなく、書類を整理し、提出する日々が続いた。

教育事務の仕事がこんなに難しく、ハードなものだと想像もしていなかった。そしてこの仕事は、理解すればするほどより忙しくなっていくものではないだろうかと感じている。だがこれは自分が選んだ道なので、頑張っていきたいと思う。

今の私にできることは、一つ一つの仕事を理解しようとする、理解したことを来年度以降に活かしていくことだと考えている。

これから多くの方々と関わっていくだろう。その方々との縁を大事にし、今過ごしているこの時間をかけがえのないものとして日々を送っていこうと思う。



J-ルビ ツヤワ
(住用地区)

知名町立田皆小学校 松留 美帆

4月より新規採用で田皆小学校に赴任し、2ヶ月が経ちました。以前、期限付教諭として学校現場で働いた経験があったのですが、教諭とは全く異なる仕事内容、マニュアルに書いてある言葉の意味さえも分からず、戸惑うばかりでした。しかし、忙しい時期にもかかわらず、一つ一つの仕事を丁寧に教えてくださった先輩方のおかげで、なんとかこの2ヶ月を乗り越えることができました。なかなか仕事を覚えられない私に「事務職員の1年目と2年目は全く違うから心配しなくても大丈夫だよ。」と声を掛けてくださった先輩の言葉がとても励みになりました。そんな頼もしい先輩方に囲まれ、少しずつ仕事にも環境にも慣れることができました。先輩方には心から感謝しています。

学校では、先生方と子どもたちの話をし、昼休みになると、子どもたちとサッカーや一輪車をして汗をかいています。熱心な先生方と素直で明るい子どもたちと過ごす毎日はとても楽しく充実しています。まだまだ、分からないことばかりですが、一つ一つの仕事を丁寧に正確に処理していきたいと思います。そのための努力を怠らず、日々成長できるよう頑張っていきたいです。

学校事務職員になって

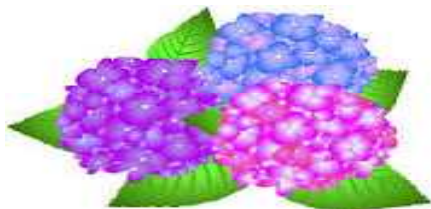
知名町立知名小学校 石田 芳樹

この2ヶ月間を、知名小学校の事務職員として過ごしてきましたが、あっという間でした。先生方からいろいろ指導を受けつついろいろ助けてもらいながら日々を過ごしているといつの間にか2ヶ月がたったという印象です。私の仕事ぶりはというとまだまだ未熟で、書類が提出期限に間に合わない、資料が見あたらない等々、反省点がたくさんあります。

しかし、そんな中でも、少しは良くなってきているのかな？と思えるときがあります。ありがとうと言われた時には頑張って良かったなあ、次も頑張ろうと思うものです。

そしてなにより学校事務職員になって良かったことは、子ども達の元気な姿が見られることです。この笑顔を決やさぬよう、精一杯の努力をしていきたいと思っています。

先生方、児童たち、周りの先輩事務職員の方々に暖かく迎えられ、心の支えになっています。今はまだ半人前で周りに迷惑をかけているかもしれないけれど、いつかは学校全体のことまで把握し、後輩にもアドバイスできるような一人前の事務職員になりたいです。



<各地区からの便利>

今回の原稿は①瀬戸内町②知名町③天城町から届きました。知名町の支援室便りが届きました。ありがとうございました。

瀬戸内町事務職員研修会

瀬戸内町立阿木名小中学校 谷口 静一

こんにちは。瀬戸内町事務職員会です。平成27年度は、3名転出3名転入で昨年度と同じく8名でのスタートとなりました。構成は専門員2名、事務職員3名(内1校目3名)、期限付き職員3名となっています。また小学校12校、中学校10校の計22校あるため、8名中7名が兼務校を抱えており、6校兼務1名、4校兼務1名、3校兼務1名、2校兼務4名、という状況です。また、大島海峡をへだてて有人の島が加計呂麻島、請島、与路島とあるため、4名が船で移動を行い、会を開催しています。主な活動内容として、『瀬戸内町立小・中学校事務職員研修会』と、『瀬戸内町立小中学校事務支援会』があります。そのほか、合同自主検査を年4回、管外研修を計画しています。

『瀬戸内町立小・中学校事務職員研修会』では、当番が旅費・給与・福利厚生などの事例研修の資料を準備し、より実践的な研修会を目指して活動しています。

『瀬戸内町立小中学校事務支援会』では、手当認定の相互審査や認定事務に関しての意見交換を主として行っています。本町では平成25年11月1付で兼務辞令が発令され、共同実施がスタートしました。兼務校数、事務職員数、離島の離島を抱えているという地理的条件等もあるため、支援室は一室であり、21校分の兼務辞令となっています。

今年度、新たに新規採用の事務職員を2名迎えました。今後、新規採用職員の支援体制を整備し、研修会・支援会をより一層充実させていくことが課題になると思います。

少ない人数ですが、元気よく頑張っていきますので、どうぞよろしくお祈りします。



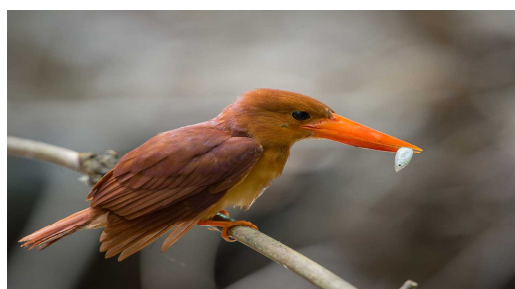
天城町事務職員会の紹介

こんにちは！天城町事務職員会です。天城町は海や緑など豊かな自然に囲まれています。また、7月にはトライアスロンが行われ、毎年、選手として出場する人々や応援する人々が一体となり盛り上がります。

天城町には小学校が4校、中学校が3校、分校が2校あります。事務職員会は6名の事務職員で構成されています。今年度は「情報交換を通じた学校事務の共同実施～実践的な取組を通して研修を深める～」をテーマに掲げスタートを切りました。主な活動として月2回の事務支援室での業務（共同実施）、年3回の町研修会を行っています。支援室では、天城小学校を拠点校とし、諸手当認定審査や給与例月報告・旅費請求事務の相互点検、町費事務などを行っています。昨年度は新たな試みとして、諸手当の受給権調査や町の就学援助費事務の説明会導入のための準備などを行ってきました。普段の業務でわからないことがあるとお互いに相談し、協力して取り組んでいます。先生方のいろいろな事務処理の工夫を知り驚いたり、明日からの活力をいただいたりと、いつも和やかな雰囲気で行われています。

また、年3回、徳之島町・伊仙町と合同で研修会を行っています。三町それぞれの取り組みの報告や事例研修など、情報交換を通して研修を深めています。

今年度もよろしくお願いたします(*^o^*)



アカショウビン
キョロロロロ

朝夕によく鳴いています。
季節感じますね。

平成27年度知名町事務職員会の紹介 知名町立下平川小学校 事務職員 松山 直史

こんにちは、知名町事務職員会です。

知名町は小学校5校、中学校2校があり、各学校1名ずつ事務職員が配置されています。構成は事務主査1名、現在の勤務校が初任校となる事務職員6名（2～5年目まで各1名ずつ、1年目2名）となります。今年度、大島管内で唯一、支援室から支援準備室へとなりました。経験年数の浅い事務職員が多く、日々試行錯誤しながら運営している状況です。このような中で、準備室代表を務める事務主査の先生には大きな負担がかかっており、私たち若手事務職員の成長が急務です。

今まで経験豊富な先輩方に助けられてばかりでしたが、今年度は、まず自分たちで問題解決できるようにすることや若手事務職員同士で積極的に意見交換することで、お互いの資質向上を図っていきます。

私は平成23年度採用で、1年目から支援室の立ち上げに向けた準備を行い、本町で支援室業務の開始された平成25年度に研修会の会長を務めました。

こういった経験を生かしながら、先輩方と共に作り上げてきた本町の事務職員会及び支援室業務を停滞させることのないように、周りの先生方と助け合いながら、より良い事務職員会を作り上げていきたいと思っています。



<最後に2年間会長を務めた加川先生よりひとこと>

泉先輩の後は非常に難しいでした。大事協の会員が少しでも繋がることのできたのであれば、幸いです。副会長をはじめ、理事の皆さんの協力に大変感謝しています。市町村毎の発表や旅費配分状況の調査等、協力していただきました。

支援室での手当認定事務や研修も大事ではありますが、私たちの居場所はあくまでも学校です。そのことを大事にしながら、支援室の充実をめざしてほしいと思います。



夏本番・・・？
梅雨が明けるのももうすぐ！

☆編集していただいた奄美市住用ブロックの皆様、ありがとうございました。